

式 辞

夙川沿いの葉桜に、例年よりも少し早めの春を感じる今日の佳き日、ここに兵庫県立西宮香風高等学校、令和 3 年度前期入学式を挙行できますことは、本校にとってこの上ない喜びです。先ほど入学を許可しました 193 名の新入生のみなさん、入学おめでとうございます。入学のこの日を心待ちにしておられたご家族の皆様にも心よりお祝い申し上げます。また、PTA 会長様にはご多用の中、ご臨席を賜りましたこと誠にありがたく、高いところからではございますが厚く御礼申し上げます。

兵庫県立西宮香風高等学校は、平成 13 年に全国でも最先端の多部制単位制高等学校として誕生し、昨年めでたく 20 周年を迎えました。今年は 21 年目という新たなる始まりの年であり、その節目にこうしてみなさんをお迎えすることができることを本当にうれしく思います。

「西宮香風」という名前は、多部制単位制高等学校の弾力的な教育課程や教育内容によって生まれる伸びやかな学びの「風」が広がることを期して命名されました。みなさんにも、本校での多様な学びを通して個性を伸ばし、たくましさを身につけて、未来へ向けて飛躍することを期待しています。

さて、開校以来、西宮香風高校は「多様性」を大切にする学校文化を連綿と育んできました。その文化を語るキーワードの一つとして、みなさんはこれから「ユニバーサルデザイン」という言葉に触れる機会が多くあると思います。もちろん、この学校の中にもたくさんのユニバーサルデザインがあります。ユニバーサルデザインの考え方は 1980 年代にアメリカで生まれました。年齢、性別、文化、身体状況などのさまざまな違いにかかわらず、誰もが利用しやすく、暮らしやすい社会となるよう、モノや仕組みをデザインする考え方のことです。多様性を

認めようとする社会がユニバーサルデザインを必要とするのはとても自然なことです。特定の人にしかわからない記号を用いているうちは、お互いを認め合う社会にはならないからです。ユニバーサルデザインとは、これからの私たちに求められている大きな「優しさ」であるといえると思います。

一方で、その「優しさ」の実現は決して簡単ではありません。視点を変え、視野も広げなければなりません。努力と学習が必要です。その意味で、ユニバーサルデザイン、すなわち「優しさ」を支えているのは「強さ」です。ここでいう「強さ」とは、たとえばルールを守り、マナー身につけようとする心のあり方などのことです。みなさんがここ香風高校の大きな「優しさ」を守り、支えていくためにも、一人ひとりの中にどうか「強さ」を育てていってください。

西宮香風高校の先生方は、そのようなみなさんの学びを全力で、そして温かくサポートしてくれます。同じように悩んだり、喜んだりできる友達との出会いもあるでしょう。どうか安心して、高校生活の第一歩を踏みだしてください。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日よりみなさまの大切なお子様をお預かりすることになりました。教職員一同、全力をあげてお子様の教育に取り組む所存でございます。学校教育を円滑に進めるためには、家庭と学校との連携が必要不可欠です。どうか本校教育活動に対するご理解ご協力、そしてご支援を賜りますようお願いいたします。

本日、入学されたみなさん全員が本校で充実した日々を過ごされ、人として確かな成長を遂げられますことを祈念して式辞とします。

令和3年4月8日

兵庫県立西宮香風高等学校長 谷口 暢謙